

学校だより

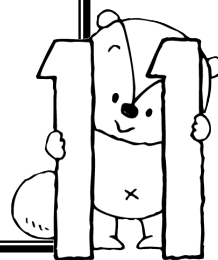
はなみずき

学校教育目標

『自他の人格を尊重し、心身共に健康で人間性豊かな実践力のある児童を育成する』

太田市立藪塚本町南小学校

令和2年11月10日(火) 第13号



人権講話 校長 11月9日(月)朝行事(校内放送) 担当:根岸教諭

みなさんは「ニックネーム」とはどんなものか知っていますか。「あだな」とはどんなものか知っていますか。「ニックネーム」は親しみとか尊敬などの気持ちを込めて言う言葉です。呼ばれる人は気持ちよく返事することができます。「あだな」は友だちをバカにしたり冷やかしたりする気持ちで言う言葉です。呼ばれた人は気持ちのいいものではありません。イヤな気持ちです。腹が立ちます。悲しい気持ちになります。みんなと顔を合わせたくなくなります。

私の教えた子どもの一人に「ガネ」とあだ名で呼ばれていた人がいました。その人は田中君と言います。田中君は目が悪くめがねをかけていました。その頃はめがねをかけている小学生はとても少なかったのです。めがねの「がね」を強調されて田中君は「ガネ」とあだ名で呼ばれるようになったのです。ある日の帰りの会で田中君は「僕をガネ、ガネと呼ばないで。ぼくはガネじゃなくて田中です。」と言いました。そして、大粒の涙を流しながらクラスの人に訴えました。とても勇気のある発言でした。クラスみんなはシーンと静まりました。田中君の訴えを真剣に受けとめました。しばらくして一人の子が「ごめん。みんなが『ガネ』と言うので面白がって僕も言っていました。田中君がそんなにイヤな思いをしているとは知りませんでした。ごめんなさい。」と謝りました。次々にみんなが謝りました。

皆さんの中にもあだ名を言われてイヤな思いをしている人はいませんか。もし、そんな人がいたら田中君のようにみんなに訴えましょう。皆さんの中にはイヤな思いをしている人を見て見ぬ振りをしている人はいませんか。もし、そんな人がいたら勇気を持ってそんなことは止めようとみんなに呼びかけてください。お互いを思いやる気持ちを持ってください。

皆さんの中にはこんな呼び方をしたらきつといやがるだろうなと分かっているながらあだ名や悪口を言って面白がっている人はいませんか。もし、そんな人がいたら友だちが悲しむような言葉をかけて悦ぶ貧しい心を今すぐ捨ててください。

人権という言葉があります。「人権」とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことです。権利とは少し難しい言葉ですが、みんな生まれたときから「自分らしく生きて良いですよ」とされているのです。今年度児童会で「いじめのない学校や学級を作るためにスローガンを作りました。『みつけよう みんなのいいところ わかりあおう みんなのちがひ』」です。廊下に掲示してあります。みんながみんな違うように、全部が同じ人なんて誰もいません。一人ひとりの違いを認めたり、自分やお友だちの良いところを見つけたりして、それぞれが大切な存在であることを知ることです。教室でも人権について担任の先生と一緒にみなさんで考えてください。

人権集中学習週間 11月9日(月)～13日(金) 人権に関わる学習を各学級で行います。学習したことを「人権学習シート」として持ち帰ります。ご家庭でも話題にいただき、親子で一緒に考える機会としていただくようお願いします。

令和2年度 太田新田歯科医師会並びに太田市学校保健会主催によるよい歯の子どもコンクール 優秀 6年小林大さん

児童の日々の学校生活の様子は、本校ブログに掲載されています。



5,6年生のスポーツフェスティバル 11月6日(金)5,6校時

6年生児童が中心となって企画運営されたスポーツフェスティバルです。種目の話し合いや出場種目の決定、開閉会式の運営も子どもたちが行いました。コロナ禍での授業参観、密を避けての見学・応援等、保護者の皆様のご理解ご協力に感謝いたします。子どもたち一人ひとりが主役であり楽しそうに取り組む姿や達成感に満ちた笑顔が印象的でした。6年生にとっては思い出に残る学習活動になったことでしょう。今後も自ら考え行動できる藪南小の児童であれ!!



児童の日々の学校生活の様子は、本校ブログに掲載されています。

